

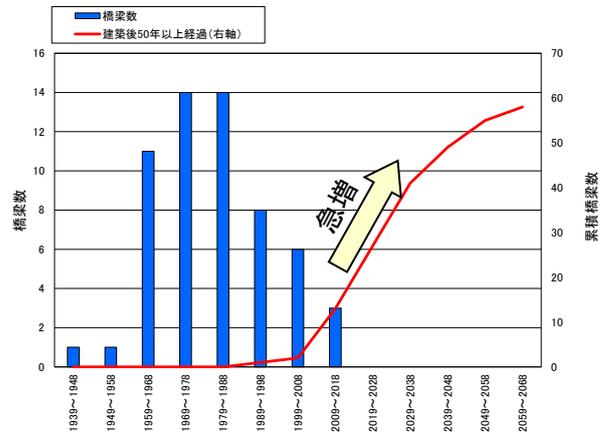
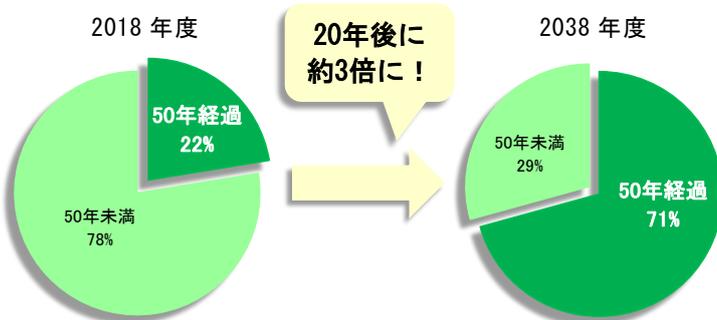
平成30年度 南部町 橋梁長寿命化修繕計画

南部町が管理する橋梁全橋（182橋）について 維持管理計画の策定を行いました。

■背景・目的

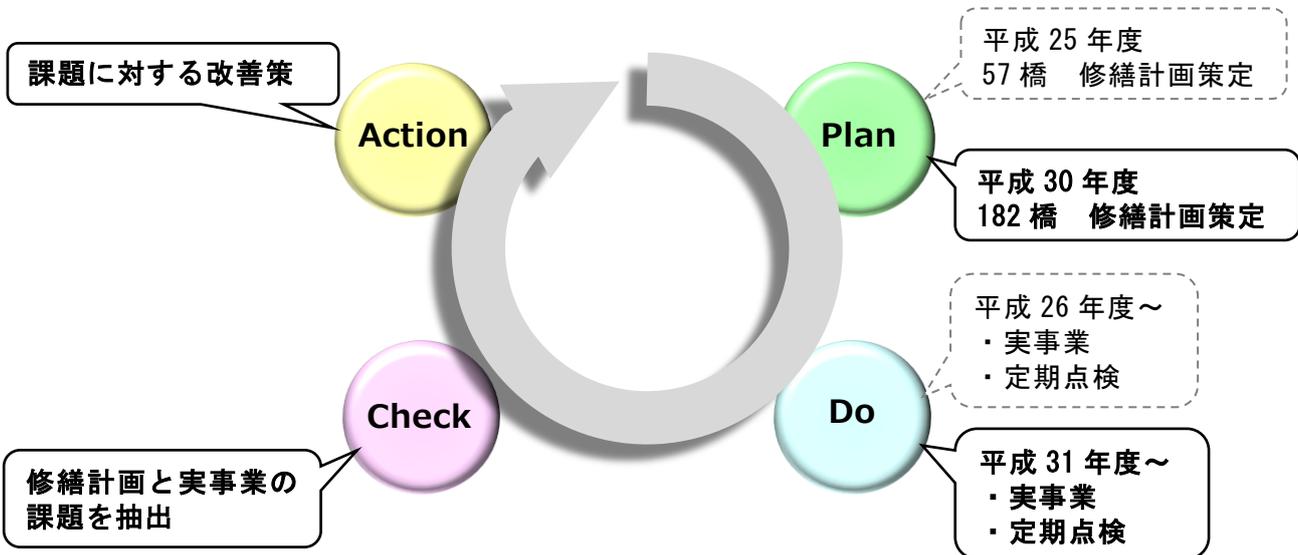
☆管理橋梁の高齢化が今後急速に進むことが予測されます。

- ・管理橋梁の架設年を見ると、高度経済成長期に集中して建設されており、2010年頃から、建設後50年以上の高齢化橋梁が急増し、20年後の2038年度には全体の約71%に昇ることとなります。これら高齢化橋梁の劣化・維持管理費の増大が懸念されます。



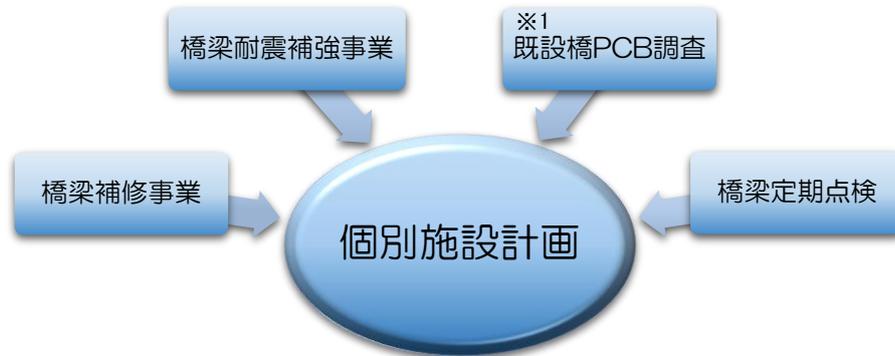
☆修繕計画再策定の目的

- ・平成25年度に管理橋57橋について修繕計画を策定し、平成26年度より修繕計画に則った橋梁修繕事業を進めてきました。
- ・平成26年に法定点検（道路橋定期点検要領 H26.6 国土交通省 道路局）が示され、5年に1回の近接目視による定期点検が義務付けられました。そのため、平成26年度より、定期点検（法定点検）を実施し、平成30年度に管理橋全橋（182橋）の1巡目の定期点検が完了しました。
- ・修繕計画の再策定に当たっては、管理橋全橋の定期点検（法定点検）結果及び、これまで実施してきた修繕事業の課題（修繕計画と事業の乖離）を抽出・整理し、橋梁修繕計画に反映することで、より効率的で効果的な橋梁維持管理を実現することを目的とします。



■修繕計画の内容

☆橋梁定期点検結果かつ、H26年以降実施してきた橋梁修繕事業の課題を踏まえ、橋梁長寿命化に加え耐震性向上（耐震対策）等を含めた、橋梁維持事業を包括した計画を策定します。



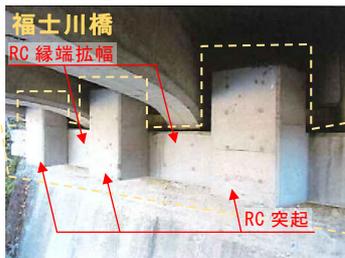
※1:

鋼橋の塗装に含有が懸念される PCB は、2027年3月31日までに処分することが環境省で義務付けられています。そのため、竣工年が不明な橋梁や、塗装歴板が無い橋梁は、PCB含有調査を実施し、PCBが含有していた場合、適切に処理します。

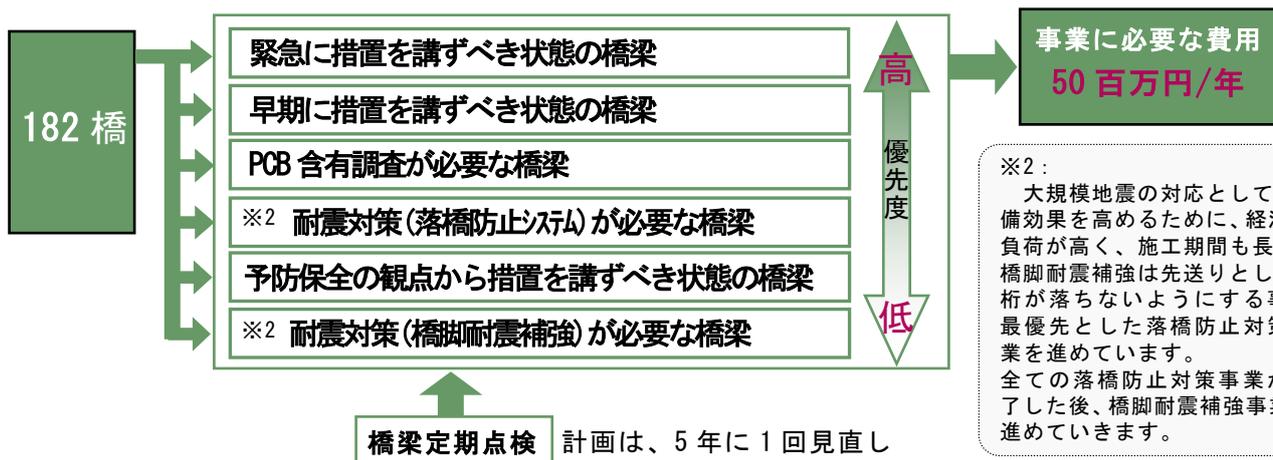
☆対策事業の重要性に応じ、各橋の優先順位を付けるためのフローを作成し、橋梁毎の優先順位を設定しました。

- ・地震の発生により橋梁が崩壊し、孤立集落が発生したり、水源の確保が困難になることが懸念されます。そのため、孤立集落・水源の確保を優先するようにフローに反映させて優先順位付けを行いました。

耐震対策実施橋梁 一例



☆管理橋全橋に対し、橋梁長寿命化に加え、耐震対策、PCB調査を含めた包括的な事業実施を修繕計画に盛り込み、対策方法、対策時期、対策費用について検討します。



※2:

大規模地震の対応として、整備効果を高めるために、経済的負担が高く、施工期間も長い、橋脚耐震補強は先送りとし、橋桁が落ちないようにする事を最優先とした落橋防止対策事業を進めています。全ての落橋防止対策事業が終了した後、橋脚耐震補強事業を進めていきます。

■意見聴取した学識経験者

☆この計画は、橋梁工学が専門の

国立大学法人 山梨大学：杉山 俊幸 教授

に助言を頂いています。